

越谷公園 県営公園の管理運営に関する事業計画書 概要版

1 管理運営に関する基本的事項

(1) 越谷公園の管理運営におけるテーマと方針

歩く 集う 感じる “健康共生パーク”
～動いてつながり 守りあう スポーツ・交流・環境が育む健康の拠点へ～

公益財団法人埼玉県公園緑地協会とシンコースポーツ株式会社埼玉支店、一般社団法人埼玉県造園業協会は、共同事業体である「越谷公園マネジメントネットワーク」を組織しました。

三者が培ってきた公園運営やスポーツマネジメント、植栽・園地管理の経験を活かし、本公園の価値を最大限に引き出すとともに、「スポーツで育むからだの健康」「地域とつながるこころの健康」「自然にふれて感性の健康」「安心・安全で守るくらしの健康」の4つを基本方針に取り組みます。

地域の人々が気軽に足を運び、体を動かし、交流を楽しみながら、自然の中で健やかなつながりを育む場所として、さらなる魅力向上を図ります。



○4つの基本方針

①スポーツで育むからだの健康

スポーツ・レジャー・子どもの遊び場を充実させ、誰もが楽しめる環境を整えます。

②地域とつながるこころの健康

地域コミュニティの活性化や賑わいの創出、アクセス向上で公園利用を促進します。

③自然にふれて感性の健康

自然体験の推進や持続可能な管理を通じて、自然を楽しめる憩いの場を提供します。

④安心・安全で守るくらしの健康

安心・安全で快適に過ごせるよう、施設の整備や防災・防犯対策を強化します。

<越谷公園マネジメントネットワーク構成員のノウハウと役割>

構成員	ノウハウ・強み	本公園における役割
公益財団法人 埼玉県公園緑地協会	開園当初からの管理・運営実績があり、健康福祉村全体の管理運営に十分な知見と経験を有している	公園全体の統括、施設管理、地域連携の推進
シンコースポーツ 株式会社埼玉支店	平成23年から一貫してスポーツ施設業務の運営に携わり、スポーツを通じた地域振興に強みがある	健康づくり教室などのイベント事業、受付業務
一般社団法人 埼玉県造園業協会	多様な植栽管理・景観演出に対応可能な造園技術を有しており、多くの県営公園で植栽・園地管理の経験を有している	樹木・植栽管理、環境保全、快適な利用環境の維持

(2) 指定管理者の責務

本グループは、指定管理者として以下の責務を果たします。

①法令遵守とコンプライアンス

地方自治法・都市公園法等を遵守し、公平・公正・平等な利用を確保します。

②安全・安心の確保

事故を未然に防ぎ、防災・防犯対策を徹底して、災害時には的確に対応します。

③質の高い管理運営

効率的で効果的な運営を実現し、利用者満足度85%以上の達成を目指します。

④社会的責任の遂行

多様化するニーズに応え、地域活性化や少子高齢化など社会課題に対応します。

⑤透明性ある運営

内部統制・外部監査を通じた健全なガバナンスを確保します。

2 人員配置計画等

(1)人員配置計画

- 各業務に求められる専門性・資格・経験を精査し、的確な人員を配置します。

(2)組織体制・指揮命令系統と役割分担

- 埼玉県公園緑地協会が共同事業体の統括機関を担います。
- 施設特性や利用者像に応じた人員配置を行い、機能的な運営体制を構築します。

(3)人材の確保と職員の技術・能力向上への取組

- 業務継続と品質確保のため、適格な人材を安定的に確保します。
- 「公の施設」の担い手として、利用者視点と公共性を兼ね備えた人材を配置します。
- 担当領域に精通した専門人材を要所に配置します。
- 段階的な研修（マナー・安全・専門研修）で継続的なスキル向上に努めます。

区分	内容例
基本研修	マナー・接遇研修／コンプライアンス研修／安全研修／個人情報保護／救命講習
階層別・マネジメント研修	階層別研修(新規採用～管理職)／マネジメント研修(基礎～上級)
専門研修	施設管理・植栽・緑化／動物管理／法令・制度等の専門講習
防災・危機管理研修	消防訓練／防犯訓練／危機管理(KY・ヒヤリハット)／災害対応訓練 /BCP訓練

3 管理運営計画

(1)来園者・利用者サービスの向上

- 利用者視点に立ち、わかりやすいホームページや案内看板を整備します。
- 玩具やストライダーの貸出、ベンチ・縁台の設置など「快適な空間」を創出します。
- 利用者との対話を重視し、ニーズ把握と「ワンデーレスpons」を徹底します。
- キャッシュレス決済導入などDXを進め、利便性を高めます。

(2)公園のにぎわい創出等に関する取組

①スポーツで育む からだの健康

- ランニング教室などの健康教室プログラムに加えテニスやスクートボード等のスポーツスクールを開催します。
- 健康への意識を高める「健康づくりフェスタ」を開催します。
- 西エリアでバーベキュー事業と貸ボート事業を行います。
- レンタサイクル事業を引き続き提供します。
- 公園を活用したプレーパーク活動を推進し、主体的な遊びの場を提供します。
- バッテリーカーの新エリアを多くの遊具があつまる冒険広場付近につくります。
- 「水遊びエリア」などの体験型イベントを充実させます。



青空ヨガ



貸ボート事業

②地域とつながる こころの健康

- 地元農産物や健康食品を取り扱う「健康カフェ・マルシェ」を定期的に開催します。
- ハンドメイド作品や飲食の出店を誘致した多様な地域交流イベントを開催します。
- 公園へのエコな移動手段として、シェアサイクルを導入しアクセス手段を確保します。
- 「さくらまつり」を新たに企画・開催します。
- フリーマーケットの誘致を積極的に行い、リユース活動の場を提供します。

③自然にふれて 感性の健康

- 季節ごとのクラフト体験プログラムやアートワークショップを定期的に開催します。
- 秋ヶ瀬公園と連携しながら、ミドリシジミの森づくり活動を行います。
- 地域の環境団体と連携し、自然観察会などの環境学習プログラムを実施します。
- つる植物を活用したグリーンカーテンを設置し、日陰の休憩スペースをつくります。
- 万葉植物園・ハーブ園の魅力をさらに高めます。

④安心・安全で守る くらしの健康

- デジタルツールを活用した不具合報告システムを導入します。
- 適切に園内樹木の剪定や伐採を実施することで、安全性の確保を図ります。
- 利用頻度の高いエリアに屋外型AED（自動体外式除細動器）を新たに設置します。
- 自治会や地域住民と連携した夜間パトロール、避難訓練・防災訓練を実施します。

(3)収益性を高める自主事業の提案

本公園西エリアの修景池北側にある自由広場は、木陰となる樹木があり修景池を一望できる眺めの良い場所ですが、ポテンシャルを十分に活かしきれていないため、魅力を活かした新たな取組みが必要であると考えます。

この課題に対応するため、自由広場にバーベキューエリアを設け、修景池を眺めながらゆったりとバーベキューを楽しめる空間を創出します。自由広場の入口に受付及び売店機能を付けた受付小屋を設置し、自由広場（西エリア）周辺の拠点施設として整備します。

また、修景池を活用して新たにボート事業を展開します。他公園で実施しているボートとは違う「ボピー」というボートを購入して事業を実施します。

○本事業がもたらす効果と意義

- イ) バーベキューや貸ボートの利用による新たな集客・自主財源の確保
- ロ) 公園施設や空間、公園資源を最大限に活用
- ハ) 公園の多目的活用と地域の活性化への貢献



写真上：バーベキューエリア内イメージ



写真右：修景池周辺イメージ

4 施設維持管理計画

(1) 安心・安全な公園利用を支える取組

■ 基本方針

利用者の安心・安全を最優先に、計画的維持管理と技術向上で管理水準を高めます。

■ 取り組み内容

- 年間・月間・週間の計画的な維持管理を実施し、PDCAで品質を継続的に改善します。
- 日常業務で得た知見を蓄積・マニュアル化し、継続的改善を図る
- 安全研修や各種講習を計画的に実施し、職員の対応力を強化



各種マニュアルを整備し、日常点検を徹底することで安心・安全な公園利用を支えます。

(2) 事故・災害への対応体制の強化

■ 基本方針

自然災害や事故リスクを踏まえ、予防と初動対応を強化し、迅速かつ確実に利用者の安全を守る体制を構築します。

■ 取り組み内容

- 巡回や植栽管理を通じた安全確保と視認性の向上
- 熱中症対策や危険箇所の立入制限、AED常備などによる事故防止
- 自然災害・事故発生時の危機管理マニュアル整備、BCP策定
- 災害訓練を定期実施し、職員・利用者の初動対応力を向上
- 設備盗難への対応（令和6年度のトイレ水栓・電源ケーブル盗難被害を受け、マンホールロックや水栓金物固定を実施）



植栽管理の実施やAEDを使用した応急処置訓練、防災研修などを重ねることで、職員一人ひとりが事故や災害に迅速かつ的確に対応できる体制を整えています。

(3) 施設の修繕・長寿命化への取組

■ 基本方針

予防保全を基本に、定期点検や計画的修繕・更新を進めます。特に開園から40年以上経過した施設や高木化した樹木については重点的に調査・対応を行い、長寿命化を図ることで安全で快適な利用環境を確保します。

■ 取り組み内容

- 予防保全の考えに基づく点検・整備
- ライフサイクルマネジメントを取り入れた維持管理
- 中長期的な視点での修繕・更新により、持続可能な公園運営を実現
- ICTを活用した劣化状況の記録・分析により、修繕計画を精緻化